

市政クラブを代表し、議案第68号平成29年度盛岡市一般会計補正予算（第2号）から議案第78号平成28年度盛岡市下水道事業未処分利益剰余金の処分についてまでと追加議案第82号平成29年度盛岡市一般会計補正予算（第3号）、認定第1号平成28年度盛岡市一般会計歳入歳出決算についてから認定第14号平成28年度盛岡市病院事業会計決算についてまでの全議案及び決算認定に関し、賛成の立場で意見を述べます。

最初に一般会計補正予算の歳入に関しては、土木費負担金の減額、民生費国庫補助金においては、子ども子育て支援交付金及び子ども子育て支援整備交付金の増額、土木費国庫補助金における社会資本整備総合交付金の大幅な減額、県補助金に関しては総務費、民生費、農林費、教育費に関する増額補正、財産売払収入では、大田地区、都南中央第三地区、道明地区区画整理事業保留地売払収入による増額補正、繰越金の繰入、市債において土木債の減額をする補正予算となっています。

次に歳出に関しては、繰越金を総務費、財産管理費の財政調整基金、公共施設等整備基金にそれぞれ積立金として配分するほか、県支出金を取り入れての盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業、盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業、芸術文化活動振興事業、介護給付等給付事業、地域児童クラブ等運営事業、産地パワーアップ事業など、国庫補助金・県補助金を受けての増額補正、一般財源を主とする体育施設費の体育施設修繕事業、環境整備費の飲用水確保対策事業、清掃総務費の一部事務組合負担金、ごみ処理施設費の旧清掃工事跡地整備事業、観光費のMICE誘致推進事業への増額補正となっています。

また、社会資本整備総合交付金の減額に伴う土木費の道路橋りょう費、都市計画費の各種事業の整理・組み換えや住宅費における国庫補助金決定による減額補正措置となっており、歳入・歳出に関する今回の補正予算については、市政執行上必要な措置と考えます。

補正に関する意見として、繰越金の繰入と財政調整基金、公共施設等整備基金への積立は良としますが、公共施設等の経年劣化、施設の利便性を高めるための整備について、十分に応じ切れていない状況が伺われますので、アセットマネジメントの計画は理解するものの、有効に公共施設等整備基金を活用していただきたい。

社会資本整備総合交付金の減額における各種事業の整理や組み換えは、理解しますが、各事業の整備計画における事業実施、完了年度が乖離しないよう、一層の財源措置に努めていただきたい。

次に環境整備費の飲用水確保対策事業については、飲用井戸等の整備に対する3世帯分の補助であります。当該地域や他の給水区域外でも、飲用水確保に困窮している世帯や自ら飲用井戸を整備している世帯もあることから、本事業の補助対象条件や制度利用の公平性を確保する必要性を感じます。

次に議案第71号盛岡市手数料条例の一部を改正する条例については、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律の改正に基づき登録手数料を決定するものであります。この法律で規定される住宅確保要配慮者とは、現行の制度の中で住宅が借りられない人たちであることを十分に理解し、それらの人たちの現状に沿った住宅の斡旋が行われるような施策の実施を図りたい。

特に居宅支援協議会には、住宅確保要配慮者の現状を熟知し、その人たちの要望を汲み取ることの出来る居宅支援法人が配置されるよう、県に働きかけられたい。

次に平成28年度盛岡市一般会計及び各特別会計の決算ですが、一般会計においては、形式収支、実質収支とも黒字となっておりますが、単年度収支・実質単年度収支も赤字となっております。

また、収入未済額・不納欠損額は、前年度に比較して減少しています。

特別会計については、全体で形式収支、実質収支とも黒字となつて^{てい}ますが、単年度収支も、黒字となっております。

収入未済額及び不納欠損額は、前年度に比較し、減少しているものの、収入未済額、不納欠損額の大部分が、国民健康保険費特別会計が占めている状況です。

一般会計及び特別会計においても、財政状況の安定性は確保されつつも、依然として多額となっている収入未済額については、財源確保の観点において尚一層の収納率向上に努めていただきたい。

次に平成28年度水道事業会計決算については、営業収支及び総収支とも純利益を計上しており、安定した財政状況が維持され経営の安定が図られています。

今後においても給水人口の減少などによる給水収益の減少が危惧されること、施設老朽化に伴う更新費用の増加が見込まれること、自然災害に対応できる体制を堅持し、引き続き経営と水供給の安定化に努めていただきたい。

また、平成28年度下水道事業会計決算については、2年連続、総収支で純利益を計上し、財政状況の改善がみられるものの、水道事業と同様に人口減少による営業収益の増加は見込まれないこと、流域下水道管理費の動向により毎年度の収支に影響を及ぼすことから、ストックマネジメントを策定し、今後も計画的な更新事業を推進するとともに、なお一層の経営の安定化を図っていただきたい。

また、近年の集中豪雨発生により市街地の都市河川整備が重要性を増しており、関係部局と連携し整備促進を図っていただきたい。

次に平成28年度盛岡市病院事業会計決算については、経常利益に特別利益と特別損失を加減した総収支で純損失を計上し、収支均衡が図られませんでした。

前年度に地方公営企業法全部適用以後、初めて純利益を計上し28年度の市立病院経営に期待をもっておりましたのでとても残念です。

経営環境は依然厳しい状況にあり、医業収益と医業費用の均衡が図られていない状況です。

各診療科における医師の確保や入院・外来患者数増加を図る収入の確保対策、他の医療機関等と連携を深め、なお一層の経営改善の推進を行っていただきたい。

次に市政全般に関しては、台風の上陸や豪雨等による災害が発生している状況にあり、強風による街路樹の倒木もあったことから、各施設等の通常点検を重視し、引き続き災害対応、防災に対する整備に取り組んでいただきたい。

最後に一般会計において黒字決算とはなっていますが、各部からの予算要望や市民からの要望・提案等に十分に応じ切れていない状況が伺われます。

各年度内において、下半期の段階などで更に決算見込みを試算し、対応すべき案件については、補正予算措置を講じ実施していただきたい。

今後も市民の市政に対する付託と信頼を受け続けるためにも、市民視点、コンプライアンスの遵守、ヒューマンエラーに対する組織的対応に取り組んでいただきたい。

以上の他、我が会派の議員が今議会で述べた質問趣旨、意見を尊重し、市政執行に反映されるよう要望し、討論とします。